

事務事業評価シート

事務事業名	国津の杜管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	岩本 靖之	

	(R1)No.	5013	(H30)No.	5013
会計区分			事業コード	304001
一般会計			(中事業名)※予算書事業名	
款	農林水産業費		国津の杜管理費	
項	農業費		(小事業名)	
目	国津の杜管理費		国津の杜管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	1	農林資源
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地域の資源として豊かな自然環境を活用し多面的な山村と都市交流の促進や高齢者の生きがいづくり・女性の能力開発を促進し、山村振興地域の活性化と発展を目指します。
事業内容
当該施設のある国津地区は平成14年5月に新山村振興等農林漁業特別対策事業の県の認定を受けました。平成14年度に地域資源活用総合交流促進施設(はぐくみ工房あらかぎ)を、平成16年度には高齢者等活動・生活支援促進施設(国津ふるさと館)の整備がなされました。開設当初から地元住民が管理し、平成18年4月1日からは地元住民組織が指定管理者として施設運営管理を行っています。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H30年度(事業量・取組実績)	R1年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	地域の振興にむけて施設の運営管理を効果的に実施します。 ・指定管理委託料等	地域の振興にむけて施設の運営管理を効果的に実施します。

R2年度(事業計画)	R3年度(事業計画)	R4年度(事業計画)
地域の振興にむけて施設の運営管理を効果的に実施します。	地域の振興にむけて施設の運営管理を効果的に実施します。	地域の振興にむけて施設の運営管理を効果的に実施します。

	H30年度(決算見込)		R1年度(作成時予算額)		R2年度(計画予算)	R3年度(計画予算)	R4年度(計画予算)
	H29繰越分	H30現年分	H30繰越分	R1現年分			
①直接事業費		7,195千円		6,437千円	6,363千円	6,363千円	6,363千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	7,195	0	6,437	6,363	6,363	6,363
人工数							
職員		0.08人		0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	600千円	0千円	600千円	600千円	600千円	600千円
①+②総事業費	0千円	7,795千円	0千円	7,037千円	6,963千円	6,963千円	6,963千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H30年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
くにつふるさと館においては2,929人の利用、はぐくみ工房あらかぎにおいては体験事業等で237人の利用がありました。前年に比べ利用者数が増加しています。くにつふるさと館においては123人、はぐくみ工房あらかぎにおいては28人減少しているため、利用率向上が課題です。各種体験教室等を通じて、農村地域住民と市街地住民との交流に貢献をしました。指定管理者として、地域協議会が受託し、地域振興につなげています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
利用率向上のため、積極的なPRが必要です。山村と都市交流の促進・高齢者の生きがいづくり・女性の能力開発の促進・山村振興地域の活性化と発展を図るために、事業を継続していく必要があります。	第3次名張市農業マスタープラン